

新しい公共支援事業の成果等報告
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

1. 成果等報告

モデル事業名	地域資源活用型ビジネスを生み出す、環境配慮型ライフスタイル推進事業
分類	<input type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> NPO支援重点化枠 <input type="checkbox"/> 震災支援枠 (該当するものにチェック)
事業実施主体名	環境配慮型ライフスタイル推進協議会
実施期間	平成23年9月1日～平成25年3月31日
支援額 (注釈参照)	※ 支援額は総額及びその内訳を記載してください。 支援総額：9,060,000円 (23年度：5,430,000円、24年度：3630000円) 委託費：3,030,000円、謝金：5,766,400円、印刷費：365,400円 備品・消耗品費：414,200円、使用料・会場借料：96,000円 旅費：488,000円
マルチステークホルダー(会議体)の取組状況	
事業概要	市民・NPO、専門家・研究者、小金井市とが協働プロセスを通じて建設した環境配慮住宅型研修施設を主な舞台とし、多摩地域の「環境資源活用ライフスタイル (通称雨デモ風デモライフ)」を確立し、これからより盛んになっていく、地域の環境問題解決に取り組む市民と行政・企業・大学などの多様な「協働」を発展させる礎を作り、これを踏まえ、平成24年度、各プログラムを実践、小金井市から環境資源活用ライフスタイルを発信していきます。
事業内容	本事業は以下の3つの事業を核に実施されました ①環境資源活用ライフスタイル市民共同研究実施 地域の市民が主体となり、大学や研究機関と協働しての共同研究を行う「雨風ゼミ」を実施し、23年度の研究結果を、2冊の冊子「雨風BOOK」、「雨風ライフガイドブック」に編集しました。 ②地域間交流事業 「環境配慮型ライフスタイル」発信の担い手や、地域資源活用の専門家達の交流・育成を図ります。

	<p>ここでは地域資源活用で先行している宮城県伊豆沼のNPO組織のノウハウを活用するとともに、地域間交流を通じて農産物を中心とする地域資源の活用法を両地域で探りました。</p> <p>③地域環境資源活用起業塾プログラムの実施</p> <p>地域資源活用型環境ビジネスを担う人材を育成するため、「雨デモ風デモハウス」を拠点にインターネット環境も活用し、地域資源活用型環境ビジネスの起業塾を実施しました。</p>	
<p>得られた成果及び自己評価</p>	<p>小金井環境配慮住宅型研修施設で行われた①の「雨風ゼミ」は、市民の自発的な取り組みにより、予定をはるかに上回る回数の講座・ワークショップ・共同研究を行い、多数の参加者があった。小金井及び周辺地域と、伊豆沼をはじめとする宮城県内陸部間の地域間交流では、両市民の交流にとどまらず、生態系調査や、③の起業塾のノウハウを活用したワークショップ、ササニシキを中心とした地域農作物の商品や販路づくりの可能性を探るシンポジウムへと発展した。</p> <p>③の起業塾では、23年度には実際の環境資源活用型ビジネス事業の立ち上げ、24年度には食事業に特化して飲食店や料理研究家とともに持続可能な食生活を立ち上げるワークショップが行われた。</p>	
<p>評価ランク</p>	<p><input type="checkbox"/>S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/>A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/>B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/>C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/>D：成果が得られなかった</p> <p>(該当する評価にレを付けてください。)</p>	

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別葉にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。

2. 添付書類

事業の実施内容及び実績に関する報告書